

会議録

会議名 平成 25 年度第 3 回八王子市文化財保護審議会

日時 平成 26 年 1 月 22 日（水） 午後 6：00～午後 7：30

場所 八王子市役所 701 会議室

出席者 【委員】 相原悦夫会長・加藤哲副会長・阿部朝衛委員・池上裕子委員・岩橋清美委員・神立孝一委員・菅原敬委員・津山正幹委員・中村ひろ子委員・野嶋和之委員・堀江承豊委員・本間岳人委員
【事務局】 田島巨樹課長・金子征史主査・新藤康夫主任・山本泉主事

欠席者 鹿島繭委員

議題 協議事項
（1）文化財調査について
（2）中田遺跡公園について

公開・非公開の別 一部公開

傍聴人 0 人

配布資料 1．第 3 回文化財保護審議会次第
2．協議事項資料

会議録 要点筆記とする。

開会

田島課長 平成 25 年度第 3 回文化財保護審議会を開催いたします。進行については相原会長にお願いいたします。

相原会長 協議事項は文化財の調査、中田遺跡公園の今後のあり方の二点についてです。では、一点目の文化財調査についてお願いします。

金子主査 文化財課では今後文化財の指定に結びつく可能性のあるものや、地元の方からの情報提供があったものについて対応をしております。その中で今後どのような対応をとって行ったらよいか、皆様にご検討をいただければと思います。日吉神社の延命子育地蔵菩薩は、町会から神社にある地蔵菩薩を見て欲しいとの依頼があり、文化財課職員で確認に参りました。もとは老人会で管理していたが、維持が難しく、老人会から町会、神社の方へ移ってきた状況です。現在でも地蔵講を行い、大祭では開帳も行うそうです。地蔵の大きさは高さ 37cm、台座も含めまして 57cm、昭和 25 年に日吉八王子神社に落ち着いたと言われております。それまでは日吉町の山車小屋付近にあったという話で、昔は子供が生まれた家の周りに置かれていたりしたも伝えられています。今後前文化財保護審議委員の先生に調査していただく予定です。信松院の不動明王については、文化財課職員で現地確認を行いました。小ぶりながら、台座に玉が嵌め込まれ、不動明王の剣に武田菱の彫刻が施されているなど、かなり丁寧な作り込みをされており、こちらも今後調査予定です。次に高尾駅北口の駅舎には、大正天皇が亡くなられた時に当時の新宿御苑の中に造られた多摩御陵への仮停車場を、昭和 2 年に当時の浅川駅に移したものです。いろいろと改変はあるのですが、全国的には珍しい木造の駅舎です。近代の和風建築という事で非常に貴重な建築物であると認識しております。次の高宰神社は散田町にあり、西八王子駅一帯の千人町、散田町、並木町、めじろ台、山田町の鎮守です。千人同心の信仰も厚く、境内には千人同心が寄進した石燈籠などが残っております。すでに会長にお願いし、2 回ほど調査に行っております。一間社流造で赤のベンガラ色で塗られております。本殿自身は彩色式の彫刻が施されています。一部改築等があり、またこのような神社が八王子市内にいくつかあることから、今後神社の社殿建築などの文化財指定をしていくにあたりどんな基準があるのかという事も検討していただければと思っております。

次に「目籠」ですが、八王子の由木地区を中心に篠竹を使って作る竹の籠です。昭和 30 年代頃まで、由木の方の副業として盛んに生産されておりました。現在ニュータウンの開発でなかなか編む方もいらっしやらないほか、プラスチックの籠などが出てきている関係で、製品としては難しいところがありますが、民俗技術という事で調査をさせていただいております。

また、文化財課では平成 22 年度から市内で 2 地区ずつ選び、悉皆調査を行っております。寺社、金石文など目につくものを地図におとし、写真を撮りレポートにまとめており、今年度は川口・戸吹地区で実施しております。具体的な調査を進めている段階で、今後の活用法を検討中です。

相原会長 この 5 項目について、今後の調査をなるべく効率的また充実したものになりたいという事務局の意向もありますので、ぜひ貴重な意見をお願いしたいと思います。まず仏像ですが、日吉神社の延命子育地蔵と信松院の不動明王の 2 点について今後調査をする予定だそうです。ご質問はありますか。

金子主査 仏像につきましては、色々な方から情報をいただき調査を行った中で、特に重要と思われる 2 点について報告をさせていただきました。この 2 点は、かなり

整っている事と信松院は武蔵国風土記稿に記載がありますので、由来を確認したいと思っております。

- 相原会長 委員の皆さんよりご意見お願いいたします。
- 池上委員 このお地蔵さんはだいたいいつ頃のものですか？
- 金子主査 見立てでは分からなかったのですが、木造で漆が塗ってあるのではないかと思われます。時代等がはっきりしないものなので、調査をする予定です。
- 相原会長 現在指定されている仏像との時代的な比較などはどうでしょう。
- 金子主査 時代的には越野町に室町時代と言われている観音様があるのですが、それに比べると時代はもっと下がるのではないかと思われます。古くて戦国まで、ただそこまで遡らないのではないかと、江戸時代くらいではないかと思われます。
- 阿部委員 この2ヶ所以外にも調査して、傷みが激しいものがあるとのことのお話ですが、それは古いものだという可能性があるのでしょうか。もし資料的に価値があるのであれば、例えば保存処理等も考える必要が出てくるのではないのでしょうか。
- 金子主査 大巻観音さんなどは、木造で見た目ではそれほど古くはないと思われ、たまたま造りが荒かったのかと。御所水弁財天はかなり新しいものだということが、見た目で見えております。保存などの処理をかけるにしても、まず文化財の指定という網をかけないとお金を出せない事もありまして、この中で保護していくにはどうしたらいいか考えているしだいでありまして。
- 相原会長 指定の可否につきましては別途検討するという事ですが、たとえば近代遺産、40年以上たつたものは対象にするなど、仏像という事で従来の考え方からすると、江戸期までなど時代的な枠があるのではないのでしょうか。
- 金子主査 会長の言うとおりだと思います。ですので、すぐに指定という訳ではないのですが、今後調査が必要なものを抽出し、調査しているという事です。
- 相原会長 八王子は寺院が多いのでこれを全部ピックアップしていくと大変な事になります。その中でも地元の要望や所管課のデータを含めて検討して、文化財の可否として検討出来るような資料をまず整備していただくという事でお願いしたいと思います。
- 池上委員 悉皆調査はお寺も対象になっているのでしょうか。
- 金子主査 含まれております。実際かなりの数があり、鋭意追跡調査をしておりますが、全て含めると1,300くらいのものが見つかっております。これは仏像だけではなく、額や古文書、古木など、担当者が歩いて由緒あるものをチェックしております。その中で何を抽出していくか今後精査し、引き続き、八王子の開発の進んでいない北西部を中心に調査を継続して行きたいと思っております。
- 相原会長 地域的にも差はありますが、区内の文化財の指定は金石文が多いです。ただ、八王子は地域が広いこと、それから金石文以外の建造物や仏像が多いですから、その中で金石文だけを取り上げるというのは難しいと思っております。そうした問題も含め、落ち度が無いようなデータを集積し検討して行っていただきたいと思っております。他に何かありますでしょうか？
- 池上委員 市史の関係で、本間さんに板碑や宝篋印塔の調査を中世部会としておやりいただいているのですが、神社の手水鉢などはこの調査に入っているのでしょうか。
- 金子主査 入っております。
- 池上委員 石工さんの系統ですとか、名前が掘ってあるものが多いと思うのですが、そういうものもわかってくるのでしょうか？
- 金子主査 石工の名前など読み取れるものは記録をとっております。
- 相原会長 例えば雲龍寺の境内の中に車地蔵というのがあります。移転していますが、元

- は八木町の雲龍寺の境内にあり、江戸時代のものです。こういったものも報告書に含まれていると思いますので落ち度の無いようにお願いします。
- 本間委員 お寺のお墓にある中世の石塔を調べております。市史の調査と悉皆調査を合わせる事で、充実したデータベースが出来るのではないかと思います。
- 相原会長 市史編纂の方で実態調査をしておりますから、それと含めてより精度の高い内容の報告をしていただければと思います。
- 金子主査 高尾駅の駅舎につきまして、近代遺産という事で、八王子は空襲を受けている関係で街中には少ないため、数少ない遺産だと思います。登録有形文化財等国の制度もありますので、そういったものを将来的には目指す形で調査をしていければと思います。ただ、建物が大きいこと、近代和風建築の専門家がいなこと、駅のため調査で貸切等が出来ないのでどのように調査をしたらよいか、こういった方に調査をお願いするか等アドバイスをいただければと思います。
- 菅原委員 自由通路の工事に伴ってとありますが、取り壊す等の話があるのでしょうか。
- 金子主査 南北自由通路を造るにあたって、駅舎をどうするかという問題がでております。所有者はJRですので今後どうするかという事を検討している状況であります。
- 菅原委員 取り壊すのか、建て替えるのかという事でしょうか。
- 金子主査 市としては保存を検討しております。
- 相原会長 登録文化財の第1号は三鷹の東京天文台アインシュタイン塔というのがあります。これは国の指定ですが、指定物件が三鷹からスタートした関係から、市の登録文化財をずいぶん指定しています。近代建築に限定はしなくても、新しいジャンルの中で解体寸前のものを保存するといったことも可能ではないかと思えます。最近では国立の駅を、解体したものを保存しておりますが、それを駅舎の中でなく外に復元する市の計画があります。あれは解体寸前に市の文化財に指定しています。そういう風に保存に力をいれていければと思います。JRの方で好意的な態度で接してくれればいいのですが、民間ですので解体という路線が出てくる可能性もあります。八王子市としては近代遺産の指定として、都市部の中で1点でもよいので事例を作っていただければと思います。市役所の近くに水道局がありますが、昭和4年に建築されたものです。鉄筋コンクリートの近代建築としては、市内の都市部では一番古いです。そういったものも含めて考え、検討していただければと思います。
- 津山委員 写真の方の説明で昭和2年に築とありますが、昭和2年に大正天皇陵が出来たので新宿御苑のこの施設をこちらにもってきたのですけれど、建築は明治44年になるのでしょうかね、これ自体が新宿御苑に出来たのは。
- 新藤主任 亡くなってからの一連の行事の中でこちらに移りました。建物の来歴としてはすごい物なのですが、昭和2年から今日までずっと駅として活用されてきましたので、この建物自体を文化財として保存するには、あまりにも中の改変が著しいというのは以前からいわれております。現在は登録文化財という制度がありますので、会長がおっしゃったようにそういう方向に行ければいいと思いますが、所有者の意向もございますので。
- 津山委員 全国的にも珍しい木造の駅舎という事ですが、木造という事自体はそれほど珍しくないと思いますが。
- 新藤主任 この建物自体が歴史を語っているという事です。
- 相原会長 大正天皇の大葬が終わった後に解体したものを、高尾駅や富士森の浅間神社の社殿のように大葬の礼に使ったものを移築しています。そういう意味では何点かあるのですが、これまで現役で使っている事と、中央線も大分駅舎を改築し

てしまっていますから、このままでいきますと時間の問題で、解体の目にあってしまうのではないかと思います。その辺の歯止めを出来ればと思います。

加藤委員 最近戦争遺跡なんて事もずいぶん言われておりますが、東大和市の変電所などがありますが、高尾の駅も中の柱に機銃照射された痕がありますが、柱自体が鉄道の線路を転用したもので明治くらいにつくられたもので、非常に古い線路が使われており貴重なものがいろいろとあると思います。JRの方もその事を分かっていて弾の痕の柱の塗装を変えております。ですので、ぜひ戦争遺産として保存する事も必要だと思えます。

相原会長 痕跡が随所にございますので、そういう事も含めて盛り込むと指定の重みが増すのではないかと思います。

津山委員 東浅川駅の建物は残っていないのですか。

新藤主任 平成2年に放火により焼けてしまいました。

相原会長 昔の多摩御陵線の橋脚も何点かあります。また2年前に取り壊されましたが、JR八王子駅の南側の車庫は昭和の初期に建てられたものでした。出来れば取り壊される前に何か保存の手を差し伸べられればよいと思います。今後加藤委員のおっしゃったように、中に残された痕跡も含めて調査結果に含めていただく事をお願いしたいと思います。続いて高宰神社の社殿の調査についてですが地元の方の要望もあり、担当者と現地に行き確認をしました。本殿の裏側で周りに覆いがあり、一間社造りです。江戸末期の社殿建築ですが、その後改修があります。海老虹梁の下に普通は火灯窓はつかないのですが、ここは寒いものですから後から火灯窓をつけてしまったのですね。こういった点が何点かあります。規模としてはそんなに大きくありません。八王子では鏈水の八幡神社など神社建築の例がありますが、他にも事例があれば含めて報告していただきたいです。本殿もさることながら拝殿と明治の終わりから大正の始め頃に造られた平台の神楽殿神楽殿があります。こうしたものも含めて検討していただければと思います。多賀神社の本殿には、拝殿と本殿を結ぶ非常に長い石の廊下がありますが、形態としては特異な形態です。一説には享保20年に再建したものだということも言われています。小比企の八幡神社は、磯沼家文書に書かれているのですが、飛騨守の大工さんが来て建造したというような事が言われています。大弾正飛騨守とあるのですが、これは多賀神社の水屋や、町田の神社も何軒かやっており、そうした人が造ったのではないかという事も考えられるのですが、さらに詳しい調査をしないとはっきりした事は言えません。ただ現存しておりますから、片倉城跡の住吉神社等も含めて、一点でなく複数の事例の中で検討していただければよろしいのではないかと思います。

金子主査 相原会長がおっしゃった事を中心に社殿建築の調査をしていきたいと思えます。

相原会長 では第4点目の目籠についてです。補足説明をお願いします。

金子主査 八王子の由木地域の冬の農閑期に、篠竹を細く削って竹籠を編むという技術が、由木の堀之内や宇津貫で昔から盛んでした。宇津貫はみなみ野ニュータウン、堀之内は多摩ニュータウンで変遷が激しいところでしたが、由木地区でも東側の方ではこうした目籠などの籠を編む技術が盛んでした。西の方の下柚木、上柚木、鏈水の辺りでは籠を編むという事がけっこうあったようです。この目籠という籠を編む技術を地元の団体で現在も継承されております。今新しい文化財保護制度の中で民俗技術という事で検討が進められています。地元の方に聞いたところ、子どもは下の方を編み、大人の男性は最後の巻く所を編むなど分業化されております。これは八王子だけではなく、多摩丘陵の町田ですとか、

- 小野路、多摩市、稲城市の方にも広がっているものです。こういったものも文化財保護の観点から今後どうしていくべきかご検討いただければと思います。
- 相原会長 全国で限界集落が 3000 位あるらしいのですが、人がいなくなってしまう訳ですから技術がそこで頓挫してしまいます。そこで国の方も視点をそこに合わせて何とか保存できないかという見方があります。多摩地域は限界集落ではありませんが、近代化されていきますと技術を持っている方が高齢化でなくなっていく事が予想されます。江戸時代から伝承されたものを一点でも保存していけたらよいのではないかとという視点で指定を検討しようというものです。
- 中村委員 これは国の民俗技術の指定を目指して検討していらっしゃるのでしょうか。国が民俗技術や歴史的景観等新たな設定をしたのに伴い、市町村によっては文化財保護条例を改正しておりますが、八王子は変えていません。八王子としても指定というものを考えていくのか、将来的なところを教えていただければ。
- 金子主査 今のところは基礎調査をしまして、将来的には国の指定も視野に含んで検討していきたいと思います。現在は、これが将来的に残していけるものなのかという事を考えております。
- 中村委員 市としての指定は考えていないのでしょうか。
- 金子主査 市としては条例に定めていない難しい領域です。
- 中村委員 本当はその改定も考えていくべきではないかと思うのですけれど。国が変えておりますので、それに準じて市もその領域で指定しておきますと、八王子の民俗技術という事で、それが今度は国になると考えられるのではないのでしょうか。
- 金子主査 確かに市の条例から徐々に上げていくというのも手法ですので、将来的には考えていきたいと思います。
- 新藤主任 もともとそうした事が難しいので国がつくったという経緯があります。条例を合わせるのは可能かもしれませんが、市がつくって有効に出来るかというよりも、国のレベルに合わせて援助を受けた方が効率的ではないかと。
- 中村委員 台東区などでは変えているかと思えます。話は違いますが、こういう場合技術だけを保存するのは難しいので、その結果どういうものがつくられたかという物の保存も両立しなければなりません。技術は映像や記録で残せますけれど、その結果出来た策なども保存していかなければならないと思います。郷土資料館の資料として収蔵する等お考えいただければと思います。
- 相原会長 ただいま中村委員がおっしゃたように、見解が分かれるところだと思えます。技術そのものを伝承して残すこととまたは記録として残すこと。記録として残すようだと、ただ単に記録文化財として残せばよいというのではなく、技術を伴って残すということが眼目ないと意味がないのではないかと思います。
- 新藤主任 この趣旨が難しいので国が先頭に立ってやってくれているのではないかと思います。篠竹が生える里山が無いと技術が伝承出来ない等色々な問題があります。そういった事も含めて、国の指定を目指して残せればと思います。
- 津山委員 由木に目籠資料館というものがつくられています。そちらを見ると、技術と物の保存というだけでなく、製品の販売などもかなり手広くやっている様子がよく分かります。多摩市で目籠の報告書がありますのでそちらも参考になるのではないかと思います。
- 中村委員 家政学院の博物館にも、職人さんから集めたものがございます。
- 新藤主任 民俗技術というジャンルで話をさせていただいておりますので、目籠が当時どのように流通していたかも重要ですが、今回は技術をメインで考えていきたいと思えます。

中村委員 ただ技術というのは結果を伴わないと技術になりませんから、どういう形のど
ういう物が出来たかというのが無いと意味がないのではないかと思います。

相原会長 なかなか結論がどうとは言いがたいところですが、一つの考え方として今各委
員が述べられた意見を参考にさせていただければと思います。
それでは悉皆調査についてですが、25年度以降も続けるのでしょうか。

金子主査 続ける予定としております。

相原会長 このジャンルというのは、金石文、社寺等となっておりますが、オールマイテ
ィなのでしょうか？

金子主査 オールマイティです。目についたものは全て記録を録るようにしております。

相原会長 報告書か何か出ているのでしょうか。

金子主査 これから中を精査してそうした事も考えたいと思います。

津山委員 調査員は何人で？

金子主査 全部で5名です。

相原会長 基準がないと後から評価するのが難しくなるので、市が関与する場合は最低限
分析に必要な項目等は提示しておいた方がよろしいのではないかと思います。

神立委員 金石文や社寺中心との事ですが、絵画や文書はいかがでしょうか。

金子主査 可能な限りは見せていただいております。

相原会長 先ほど近代建築の専門家がいなしのお話がありましたが、例えば大学の建
築科の先生などに折衝して人選したらいかがでしょう？

金子主査 東京都には依頼して何人が紹介いただいております。大学の建築学部等も調べ
て検討していきたいと思います。

相原会長 建築のノウハウを知っている方を精査してお願いするべきと思います。
続きまして中田遺跡公園について、これまでの経緯も含めて説明をお願いします。

新藤主任 昭和45年に条例制定されて、その後子どもの火遊びで復元住居が全焼し、昭和
53年度末に再建されてここまで来た訳です。近年傷みが非常に酷い事と、古墳
時代の住居があまりにも立派に復元されております。屋根の葺き方が茅葺きな
のですが、近年復元住居の在り方が根本的に変わるような発掘の事例がありま
した。群馬県渋川市中筋遺跡というところで、6世紀の初頭に榛名山の爆発があ
って、一瞬のうちに火山灰で埋まってしまった遺跡で、その調査の結果、竪穴
住居は立派な高いものではなく、屋根が低く、萱葺きの屋根の外側に土を盛っ
ていたという事が分かりました。こうした事例を踏まえ、もう一度復元の仕方
も含めて検討するために、いったん傷んだ復元住居を撤去し、現場を埋め戻す
という提案をさせていただきました。平成23年度の第3回に現地を見学し、同
年第4回審議会で協議をいただきました。委員の先生方のご意見としては、再
建が好ましいとの事でしたのが、事務レベルの折衝等を行いました。最終的
には予算等の問題で計画にのりませんでした。中田遺跡に関しては、都営団地
が出来るという事で発掘調査を行い、全国的に見ても、全面的に調査をするよ
うな記録保存の走りの調査で注目されました。その結果一部を何とか保存出来
ないかという事で、今公園になっている所を都が市に無償譲渡するとの事で受
けたものです。平成25年度で公園全体の改修はほぼ終了します。その中で復元
住居の建て替えはどうか打診しましたが、予算の関係で難しいとの事でした。
工事は3月中に終わりますので、文化財課として管理していく必要があります。
それ以外の公園全体としては公園課の方に引き継いで行きたいと考えておりま
す。今回の提案は、引き続き再建の努力はしていくのですが、復元住居の在り
方については検討していかなければならないと考えております。そこで審議会

の委員の先生方の意見をお聞きしたいと考えております。

- 相原会長 2年ほど前に現地を見た結果、そのまま放置しておくのも問題があるとの事で、結論は出ませんでした。何かしなければならぬとの方向性は文化財保護審議会として事務局に提示しました。しかし、今住居の形について疑問が出てきているとの事ですので、復元するしないにかかわらず、根本的な問題があると思います。いろいろな遺跡を参考にし、専門的な見地から検討していくほかないでしょう。将来復元するにあたっての提案を文化財保護審議会として提示していくべきでしょう。事務局から積極的な姿勢を提示してもらいましたが、委員の皆様方がいかがでしょうか。
- 加藤委員 現状で放っておいて危険な事はないのでしょうか。危険であれば撤去せざるを得ないのではないのでしょうか。
- 相原会長 周りに柵があって入れないようにしておりますが、そういった形での危険防止措置しか取れない状況です。小学生等の団体の見学が入る場合は、職員がついて監視等を行っているのでしょうか。
- 金子主査 シルバー人材センターの職員がおりますので、鍵を開けて見学をさせていました。見学の数も減っておりまして、年間100~300名程です。昨年はたまたま京王電鉄の大きなイベントがありまして数値が大きかったのですが、それを抜きますと、ここ2,3年はおおむね100~300名で多い時で500名程度で推移しています。学校の見学も八王子城、絹の道に比べれば少ないのが現状です。
- 新藤主任 団地の中ですので大型バスで来てもらうという事が出来ないため、どうしても地域の学校になってしまう。
- 相原会長 将来構想はともかく、危険防止という観点から何らかの策を講じておかなければならないかと思えます。移管された教育委員会で何かあれば困るかと思えますので。業者の方というのはシルバー人材センターの方が一人でしょうか。
- 金子主査 はい、シルバー人材センターがローテーションで一人ずつ入っております。今は工事中ですのでおりません。
- 相原会長 文化財保護審議会としての見方はありませんか。
- 菅原委員 壊れてすでに危険な状態であるのであれば、将来的に建て替えるという事はさておいても、危険なものを取り除くのは致し方ないのでは。実際見てみると復元住居のていをしていないと思えますので、これは市が放置しているという事になりますから、そこは対応する必要があるのではないのでしょうか。
- 相原会長 第3者の目から見ると、管理が行き届いていないのではないかとといった見方も出てくるのではないかと思います。
- 新藤主任 以前は周りがうっそうとしていたのですが、今は公園の整備で周りの木や柵が綺麗になっておりますので、見晴がよくなり、余計によく見えます。
- 相原会長 過去に焼けている例もありますので、それを2回も3回も繰り返すのはどうかと思えます。写真で見た状況では一般市民が見た場合、放置しているという感覚を受け、行政側の対応が不十分であると感じるのではないのでしょうか。何かしらの対策を行うべきかと思えます。
- 阿部委員 写真を見ると2年前に見学した時よりは傷みが広がっているように見受けられます。2年間でこれだけ進むという事は今後もっと進むという事が予想されます。内部に入った時も柱の位置が動いていましたし、床面から壁に立ち上がる部分で、板ではあってあった部分がずれ始めていました。壁の部分も崩れ始めていました。恐らく極めて危険な状態がさらに進んでいるのだらうなと思えます。今の状態で見学者を積極的に中に入れるという事をしてよいのか、入れるとす

れば危険が無い状態の修復を緊急に行うのかという事も考えた方が良いかと思
います。

相原会長 保存の在り方として、現状のまま放置したままでよいのかという事と、そうい
う見方をされた場合に事務局の方でいいですという訳にはいきませんからその
対応をどうするかですね。復元の予算措置がどうかという事以前に検討する必
要があります。文審には何回かかけておりますが、結論は出ておりませんので、
事務局の方で出来る範囲内で処置をしていく事が必要ではないかと思
います。所定の協議事項は以上です。

その他の事項として何かありますでしょうか。

新藤主任 情報提供として第 39 回東京都の遺跡発表会のチラシをお配りしております。都
内でその年に大きな成果があった遺跡を集めて、都民の方に速報的に発表しよ
うというものです。八王子城の池についても発表する事になりました。戦国時
代末期の石を配した水が流れる素晴らしい庭です。造られた時期もはっきりし
ており、落城した後手つかずのまま壊されずに残っています。大変残りがよい
との評価もいただいております。とりあえず速報という事で 2 月 16 日に報告を
行います。

相原会長 他に何かございますか。

堀江委員 信松院の松姫坐像の隣にある不動明王像の事ですが、昨年高尾山の信徒の方が
似たような厨子と飯綱権現を持ってきました。厨子の扉に矜羯羅と制多迦が二
つ同じような形がついているのですが、これは明治の時に埼玉の方で祀って
いたものとの事でした。このお不動様が武田信玄ゆかりのものであっても、厨子
はその後に造られたものじゃないかなと思います。同じ時代ではなく、ある
いは明治の時に一緒に金箔を塗って修復したかもしれませんし。あとは川口の
ところに、伊達家ゆかりのお不動様が長福寺というところにあります。調査を
されると良いのではないかと思います。

金子主査 おっしゃる通り、厨子については見に行った職員も後付ではないかとの見解を
示しております。

相原会長 ただいま堀江委員が言われた事を参考にさせていただければと思います。それで
は平成 25 年度第 3 回の文化財保護審議会を閉会したいと思います。

閉会